

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市燕沢児童館		
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 22,022人(前年度比 116.7%) ・令和4年度 18,866人 ・令和3年度 15,583人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 38,750千円 (39,036千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>地域と連携して児童館運営を行いました。「燕沢学区民祭り」「俺たちの祭り」等の地域の行事では、幼児や小学生対象のゲームコーナーを担当し、多くの地域の方に楽しんでもらいました。10月の児童館祭り「つばめっこランド」では燕沢小PTA、文化振興会、体育振興会、ゆうゆう会等地域の10団体やボランティアの方々に応援いただき、「ハロウィン」をテーマにしたゲームや工作等の遊びの場を開催しました。オープニングでは小学生がダンスを披露し、来場者に盛大な拍手をいただきました。地域の方が楽しみにしている燕沢地区のお祭りの一つになっています。児童健全育成事業では、地域ボランティアの協力で、読み聞かせ、手芸、囲碁将棋、畑作り、お茶会等の行事を開催しました。小学生は様々な遊び体験に興味や関心を持って取り組み、地域の方と交流を深めました。仙台第三高校とは「科学遊び」、西山・東仙台中学校とは「職場体験」で交流を図っています。</p> <p>子育て家庭支援事業では、参加対象を年齢ごとに設定した定例活動の他、子育て支援クラブと共催でハンドメイド教室やストレッチ等を開催しました。民生委員の協力を得て、子どもの見守りを行い、保護者の方が子育て中のストレスをリフレッシュしたり、地域の方と交流したりする場になりました。</p> <p>児童クラブでは、毎日の読書タイムの中で、高学年児童が一年生に自主的に絵本や紙芝居の読み聞かせをしました。仲間を募って好きな遊びをする「フリータイム」では、リーダーがグループをまとめ、ルールを決めて遊んでいます。学年集会では、積極的に発言して、翌月の目標を決める姿が見られます。3月のお別れ会では四年生が司会を務めました。役割を担うことで、コミュニケーション能力や心身の成長が図られています。遊びや人との関わりを通して、子どもが自ら発信できるようになることが目標です。地域と共に子どもの成長を支援していきます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、「囲碁・将棋」「はたおり」「卓球」「畑作り」「木工」等の体験活動を地域の方の指導のもと継続して行っている。令和5年度は、「ゲートボール」「剣道」体験を提案いただき、新たに実施した。子ども達にも好評を得ており、令和6年度に続く行事となっている。小学2年生以上を対象にダンスメンバーを募集し「ダンスクラブ」として実施した。児童館まつりのオープニングで披露し多くの方に褒められる体験を通して、充実感や達成感、自己有用感が育まれている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、0歳対象の「キラキラクラブ」、1、2歳児対象の「サンサンクラブ」を登録制で実施した。親子の触れ合い遊び等の提供と共に、各クラブの活動後に場所を設けて保護者同士が交流を図れるよう支援をしている。仲良くなった保護者同士と一緒に自由来館で利用する姿もあり、地域の子育て家庭支援の拠点としての役割を果たしている。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域のゆうゆう会の協力のもと「夕涼み会」を開催し、火起こし体験やマッチ擦り、その後の花火等、普段は経験できない体験の機会となった。「児童館まつり」は地域の10団体の協力の基で開催した。各コーナーを地域の方が担当する等、地域の中のお祭りとして定着しており、地域と連携した協力体制のもと、多彩な事業を展開しており、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、子どもの意見から遊戯室での「フリータイム」制を導入した。メンバーやリーダー、遊びの内容や用具等子ども達が考え主体的に行動できるよう工夫し支援したことで、遊びを通して交友関係が広がり、異年齢交流も図られている。また、令和4年度から取り組んでいる「読み聞かせ」は、令和5年度から子どもも読み手として参加し、絵本を選ぶ、友達と話し合い役割を決める等自主的に取り組み、希望者も日々増えている。これらの様々な活動は、主体性や社会性が育まれる取り組みとなっている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課